

2013年

# 地域とつながりひろがる 協同組合のこれから

あけましておめでとうございませう。  
本年もよろしくお願いいたします。

2012年は国際協同組合年として、世界各国で「協同組合」の意義や役割りを広く知らせる取り組みがありました。岐阜県内でも、6つの協同組合がつながり、新たな役割や可能性をひろげようとしています。今回は新年特集として、2012年の振り返りと、協同組合のさらなる発展について、JA中央会 岡田会長と、コープぎふ 川崎理事長にお話いただきました。

## 2012年 国際協同組合年を振り返って

**岡田** 昨年は、国際協同組合年でした。岐阜県でも記念として「みのかも健康の森」で植樹活動を行いました。

**川崎** そうですね。こうして取り組みはこの一年だけで終わらせず、ずっと続けていけるといいですね。



みのかも健康の森での国際協同組合年の記念植樹

**川崎** 県内の6つの協同組合（農業協同組合、酪農農業組合、漁業協同組合、森林組合、労働福祉協議会、生活協同組合）が集まってひとつのことに取り組むことは初めてでした。「協同組合」を県民の皆さんにお知らせする、よい機会になりましたね。

## 生産者と消費者が 歩み寄れる場づくり

**岡田** これからは「つくる側」と「売る側」が協力し、生産者と消費者が交流する場づくりが大切だと考えています。ぜひ、組合員のみならず、農業の現場を見ていただきたいですね。

**川崎** 組合員の多くは、（普段の生活のなかで）農業にかかわる機会が少ないですからね。

**岡田** 田植え・稲刈り・脱穀…。お米が店頭に並ぶまでどんな工程があるのか、農家の一生懸命な姿をぜひ見ていただきたいですね。

**川崎** コープぎふが毎年取り組んでいるお米づくり体験には、たくさんの組合員の親子が参加しています。生産者と交流し、体験を通じて、お米づくりのたいへんさや、お米の良さを知り、もっと食べてもらいたいと思います。

**岡田** 「作る人」の声を「利用する人」が聞き、また「利用する人」の声を「作る人」が聞ける関係は素晴らしいですね。よりよい商品になっていくと思います。ひとつの組織では限りあることも、お互いが協力することで、可能性がどんどん広がっていきまね。それがとても楽しみです。

**川崎** 国際協同組合年は終わりましたが、今後もお互いに協力し、組合員のくらしがよりよくなるよう知恵を出し合います。今年もよろしく申し上げます。

## 安全・安心な商品を 地元から発信

**岡田** 昨年は、めぐみの農協とコープぎふの組合員で商品開発もおこないましたね。

**川崎** 「明方ソーセージ」ですね。商品の仕様や、包材、価格など、いろいろな角度からいっしょに検討を重ねてきました。いよいよ2月にデビューしますが、試行錯誤した商品だけあって、とても楽しみです。

**岡田** 組合員のアイデアで作った商品なので、きっとヒットすると思いますよ。

**川崎** 地元のものだからこそ、たくさんの方の地域の人に手にとっていただきたいですね。先日、コープぎふを訪れた中学生に「生協のイメージは？」と聞いたところ、「地産地消」という答えが返ってきました。

## 岐阜の産物を活かして！ 新しい商品を

**岡田** それはすばらしい！「地産地消」という言葉が定着しましたね。私たち農協は、地元の産物をより安心して食べていただける「ものづくり」や、地域のみなさんに提供する「場づくり」に取り組んでいます。コープぎふさんには生産者と消費者の橋渡し役としてお世話になっています。

**川崎** コープぎふの組合員が求める安全・安心な商品を、地元農協の組合員のみなさんが作ってくださいというのは、とても魅力的ですね。

**岡田** 今、地元の産物を活かした商品づくりにも取り組んでいます。JAと、地元の洋菓子店による「野菜スイーツ」の開発をおこないましたが、その中に『ナスとチョコレートジャム』なんてのもありますよ。面白いでしょ。イベントなどで販売する予定です。

**川崎** 意外な組み合わせですね!!どんな味がするか想像つかないです。それにしても野菜とスイーツを結びつけるのは面白いですね。生協の組合員からもいろんなアイデアが浮かんできそうですね。

**岡田** 農協の組合員もとても元気で活動的ですので、生協の組合員のみなさんと一緒に新しい商品をつくりだせるといいですね。



明方ソーセージを開発した組合員



コープぎふの稲作体験